NABESHIMA-DANTSU ORIMONOGATARI

織ものがたり

# ［ わたし × 鍋島緞通 ］

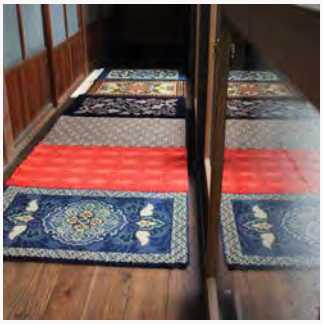
「あったらいいな」、「ここに（こんな風に）使いたいな」と思う緞通のイメージを教えてください。
フルオーダーの鍋島緞通にあなたの「想い」を詰め込んで、織ものがたりが特別な一枚をお届けします。

ごあいさつ

私たち織ものがたりは、佐賀で生まれた鍋島緞通の稀代の手織り技術を後世に息づかせるため、変化を楽しみながら新しい鍋島緞通作りに取り組むべく、2012年10月に創業しました。みなさまに支えられ、みなさまと共に歩んできた中で、2016年には佐賀県伝統的地場産品指定織元にも認定されました。10周年の節目を迎えた今、これまでの感謝の気持ちを込めて、ご応募いただいた方の中から一名様に鍋島緞通をプレゼントする一大企画、「鍋島緞通デザインアイデア募集」を実施します。佐賀が誇る織工芸、鍋島緞通の今とこれからについて、より幅広い世代の方々に関心を持っていただくことにも繋がればと考えていますので、どうぞこの機会に奮ってご応募ください。

みなさまのご参加を心よりお待ちいたしております。

株式会社 織ものがたり
代表取締役　木下 真



NABESHIMA-DANTSU ORIMONOGATARI

織ものがたり10周年大感謝企画［わたし X 鍋島緞通］①

# 「鍋島緞通デザインアイデア募集」

自分が「欲しい！」と思う鍋島緞通をデザインしてみませんか？
織ものがたり賞(1点)を選出し、受賞者にはそのデザインで製作した緞通を贈呈します。

**公募開始：2022年 9月 10日(土)～　応募締切：2022年 12月 31日(土)**

**☞ 詳しい企画内容や応募用紙のダウンロードに関しては、弊社ホームページの特設バナーからご確認ください。**

**【ホームページ】**

**【特設バナー】** 鍋島緞通デザインアイデア募集 >詳しくはクリック

《企画進行スケジュール》

| | | |
|---|---|---|
| ▽ | 2022年 9月10・11日 | 展示会にて企画発表＆公募開始 |
| ▽ | 9月～12月末日 | 鍋島緞通のデザインアイデアを一般公募 |
| ▽ | 2023年 1月中旬 | 織ものがたり賞（1点）を選出～結果発表 |
| ▽ | 2月～4月初旬 | 選出作品のデザインアイデアを図案化し、緞通を製作 |
| ▽ | 4月下旬 | 受賞者に完成したオリジナル鍋島緞通を贈呈 |

織ものがたり

## ～あなたの“ものがたり”が鍋島緞通に～

お客様ご自身によるイメージ画

伺ったイメージを元に図案を作成して織り上げました。

「山ぼうしに五線譜 縁二重雷文」
70×140㎝

お客様から「こんな緞通を作って欲しい」と、ご依頼をいただきました。ご自身で描かれたイメージと共に、そこに込められた想いを伺いました。メインモチーフのお花は「ヤマボウシ」。30年前、ご結婚の記念として中庭に植樹されたヤマボウシの木は現在大きく立派に成長し、ご自宅のメインツリーとして春には毎年見事な花を咲かせるそうです。そんな長年ご家族を見守ってきてくれた思い入れのあるヤマボウシのデザインに、ピアノ講師をされている奥様をイメージしたアレンジを加えて図案を作成しました。鍋島緞通特有の縁の柄「雷文」を鍵盤に見立て、地模様には七宝柄と五線譜をあしらい、ヤマボウシのお花がメロディーを奏でているかのような情景を表現しました。
お客様の人生（ものがたり）が一枚の鍋島緞通に…。　私たち織ものがたりが製作のお手伝いをいたします。

NABESHIMA-DANTSU ORIMONOGATARI

織ものがたり10周年大感謝企画［わたし X 鍋島緞通］②

## 「鍋島緞通 手織り体験」＠実演工房

☆2022年10月「じゃらんNet」より受付開始！


佐賀県伝統的地場産品指定 鍋島緞通織元　**株式会社 織ものがたり**
〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町4番7号〈佐賀市歴史民俗館 旧森永家住宅 居宅/南蔵〉
TEL 0952-24-1560　OPEN 10:00-16:45／月曜休館

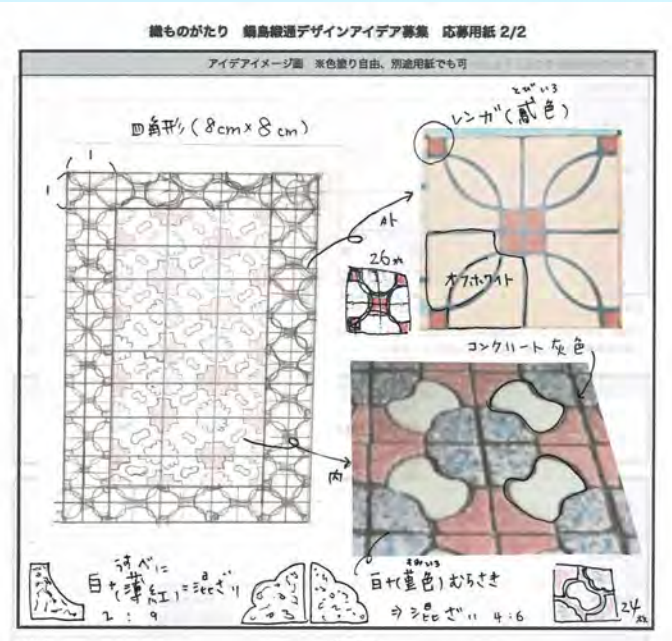

**【MAP】**

【鍋島緞通デザインアイデア募集】　※2022年12月31日に応募締切

～織ものがたり賞受賞作品　完成報告～

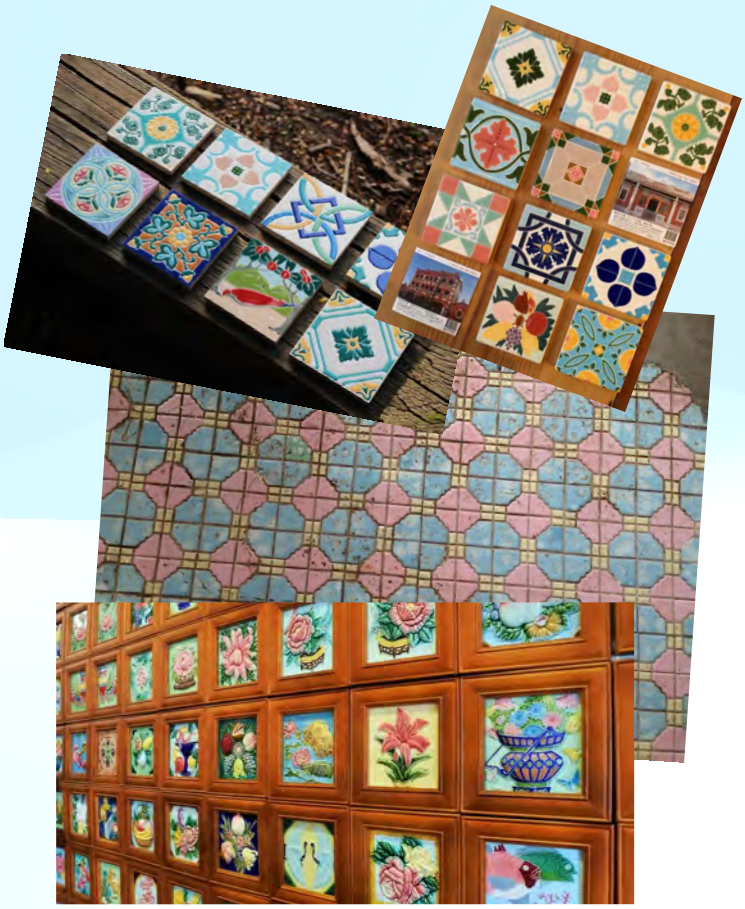
今回、「自分が欲しいと思う、毎日の暮らしを豊かに彩る鍋島緞通」をテーマにアイデアを募集しましたが、実に様々な、これまでの伝統にとらわれない自由な発想のアイデアを数多くいただき、私たち織人もたいへん刺激を受けました。魅力的な内容ばかりで、その全てが鍋島緞通で表現してみたいと思わせるものでした。

社内において厳正なる選考を行い、織ものがたり賞として制作させていただく一点のデザインアイデアを選出させていただきました。その後、受賞者にデザイン案に込められた想いなどをより詳しく伺った上でイメージを図案化し、打ち合わせを重ねる中で修正を繰り返し、緞通製作へと進んでいきました。



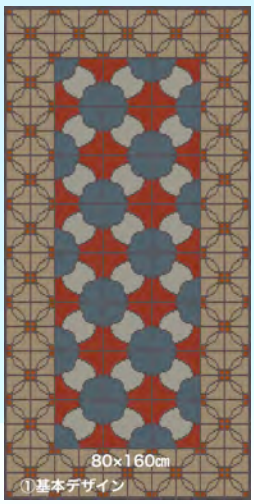

織ものがたり賞に選ばれた方は、台湾出身、ご結婚されて現在は日本にお住まいの女性、Yさんです。ご実家のお風呂のタイルの柄を、鍋島緞通のデザインに取り入れるというアイデアでした。このデザインを見ると大好きな故郷の思い出が蘇ってくるそうです。

独特の色使いとデザインが魅力的なこのタイルには約100年の歴史がありますが、現在ではほとんど生産されておらず、台湾でも「珍しいモノ」となりつつあるそうです。

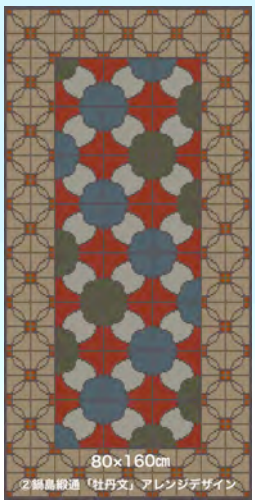


これらのタイルについて調べているうちに、初めてマジョリカタイルという存在を知りました。19世紀半ば、イギリスのヴィクトリアンタイルの中の色鮮やかなシリーズとして世界各国に輸出されたのが始まりとされています。大正初期から昭和初期にかけて、日本でも独自のデザインが加えられたものなどが数多く生産・輸出され、台湾に残るこれらのタイルもそのほとんどが当時の日本国内で作られたものだということです。

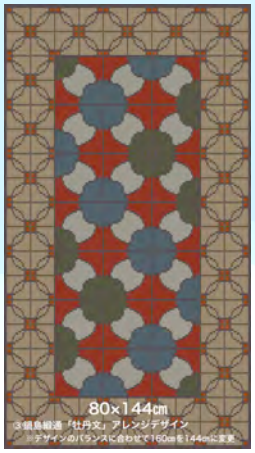
①



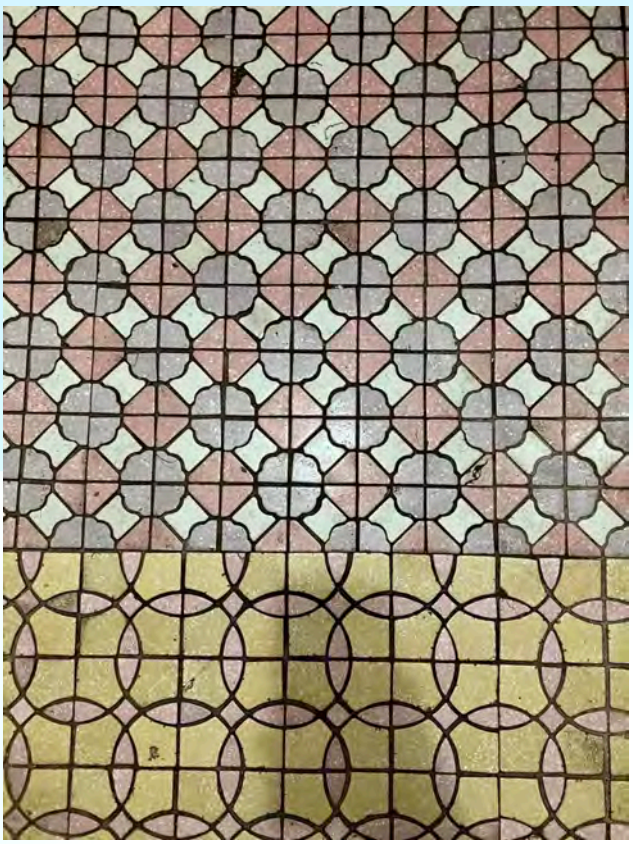

②




③




まずはYさんのイメージ画の色合いやサイズを参考に、図案(①)を作成しました。シンプルでありながら個性が感じられる独特のパターンには、どこか鍋島緞通と共通するものを感じました。鍋島の「牡丹文」を取り入れたパターン(②)も作成し、更には全体のバランスを考えサイズを変更したデザイン(③)も起こしました。



Yさんとデザインのやり取りをしていく中で、色を実物に合わせてほしいというコメントと共に、実際のご実家の浴室タイルの写真が送られてきました。
Yさんの「原風景」とも言えるこの色合いのデザインパターンを緞通で再現し、毎日の日本での暮らしの中で、遠く離れた故郷・台湾を少しでも近くに感じてもらうことが出来ればと、改めて創作意欲が湧いてきました。

④

⑤

いただいた写真を参考に配色し直し、サイズはデザインのバランスに合わせた形で80×145㎝とした上で、鍋島緞通の牡丹文を取り入れた図案を2パターン作成しました。最終的に、⑤の図案で製作することに決定しました。

【2023年9月織上】

作品名：原風景 gen-fu-kei

サイズ：80×145㎝

毛足の長さ：12㎜

房：生成片房

＊デザインアイデア募集企画2022
織ものがたり賞受賞者に進呈

原風景とは・・・
人の心の奥にある原初の風景。
人格形成や人生に大きく影響を与えると考えられています。

穏やかに、心豊かに毎日の暮らしを楽しんでもらうため、人それぞれの「原風景」をデザインしたオリジナルの鍋島緞通を、織ものがたりが皆さまにご提案いたします。